

## 令和4年度（大和高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を未然に防止する。	教育公務員として高度な規範意識が根付くよう、日ごろからの注意喚起や、職員によるヒヤリハット事例の紹介により、特に若手職員が自覚と責任を強く持った。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員一人ひとりがパワハラ、セクハラ、マタハラ等について意識を高め、未然に防止する。	定期的な研修会の中で、個々の言動を振り返り、ハラスメントがなかったかチェックをするとともに、職員が互いの人格を尊重し、職場における適切なコミュニケーションが図れるよう、職場環境の整備を行うことにより、未然に防止することができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為について当事者意識をもって取り組み、未然に防止する。	生徒とのSNSの禁止を徹底し、日常的に遵法意識、当事者意識の醸成を図った。また、部活動等で生徒の携帯電話番号を収集する場合は、理由と最低限度の人数であることを確認し、慎重に扱うことができた。
体罰、不適切な指導の防止	体罰と不適切指導の発生を未然に防止する。	生徒の指導について、不適切な指導となっていないかを日常的に注意喚起し、事故防止の徹底を図った。生徒の部活動アンケート結果からも、職員の不適切な対応に係る記述はゼロであった。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜業務において、公平かつ公正に選抜業務を行い、事故を未然に防止する。</li> <li>・定期試験問題の作成・管理及び成績処理に係る事故を未然に防止する。</li> <li>・調査書・推薦書等、進路関係書類の作成・発行に係る事故を未然に防止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜においては、過去のヒヤリハット事例を共有しながら、事故防止の徹底を図った。チェック体制の見直し等再検討の必要が生じた事項は次年度に生かす。</li> <li>・定期試験の問題作成、成績処理については、昨年度に引き続きチェック体制を強化した。事故なく、誤りなく処理することができるよう、次年度に向けチェック機能を再度検討する。</li> <li>・調査書、推薦書等進路関係書類については、複数のチェック体制で適正な処理ができた。</li> </ul>
個人情報等管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流出を未然に防止する。	教務手帳や出席簿等の適切な保管については、定期的にチェックし事故の未然を図った。また、日常的に扱う様々な個人情報については、常に意識を持ち、職員同士が互いに声を掛け合うなど事故、不祥事防止意識の向上につながった。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	不祥事時防止研修会において、飲酒運転等根絶に向けた点検チェックを行い周知した。また、交通事故の防止については、自転車乗車中の事故について加害者となりうることも再確認し注意を促した。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	作業プロセスの簡素化・効率化、文書や電子ファイルの共有化と引継ぎの徹底を図り、未然に事故を防止する。	校内の業務マニュアル・規定等を整理し、今年度より電子化することにより業務の簡素化・効率化につながった。また、職員会議資料においても電子化することができた。それに伴い、ファイル管理方法等についても再度検討した。
財務事務等の適正執行	会計事務処理を適正に行い、事故を未然に防止する。	私費会計マニュアルの見直しを行い、全職員に周知したことにより、職員一人ひとりの意識の向上が不適切な会計処理を未然防止することができた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

令和4年度不祥事ゼロプログラムを行動計画に従って実施し、目標を概ね達成することができた。不祥事防止会議や、毎月開催の全教職員対象の不祥事防止研修会では、毎回点検資料を活用し同じ形態で実施し続けているが、そのことが職員の意識の定着につながり、改めて不祥事防止を再確認するきっかけにもなっていた。また、教員が経験したヒヤリハット事例の紹介は、その時の原因や状況を分析・共有することができるため、経験の浅い若手職員への気づきになるばかりではなく、全教職員が未然防止意識の向上につながる取組となった。

令和5年度は、4年度の校内ヒヤリハット事例を「当事者意識」として捉え、引き続き「早期発見」「未然防止」につながる不祥事防止研修会を定期的に開催し、事故不祥事ゼロとなる取組に努めたい。